



自然体験講座「昆虫採集と標本作り」での昆虫採集の一コマ。昼食後には、採集した昆虫の標本作りに挑戦しました。

**Vol.159**  
令和5年度9月号

## 「くりはらマルシェ」当館敷地で開催



8月5日と8月11日の2日間、「くりはらマルシェ」が開催されました。この催しは、栗原の豊かな農林水産物や加工品、地場産品など広く紹介するもので、来館者の皆さんは、栗原の魅力的な産品を堪能されていました。

## 「自然体験講座」が開催されました

7月23日と8月5日に、自然体験講座「昆虫採集と標本作り」が開催されました。午前中、水生植物園での昆虫採集では、ヤナギの樹液に集まったチョウや池の上を群れ飛ぶトンボなどを採集できました。オオムラサキが樹液を飲むために、スズメバチすら追い払う姿は迫力満点の光景で、子供達は目を丸くしていました。午後は採集した昆虫の標本を作製。チョウの標本は羽を広げる作業が難しいのですが、先生に習って上手に作っていました。子供達は、標本の乾燥が終わる2週間後の受け取りを楽しみにしていました。

標本の作製は、その場所に生息する生物を記録するための大事な活動です。今回の体験が、身の回りの生き物や自然に関心を持つきっかけとなれば幸いです。



網の使い方の説明です



昆虫採集開始！



奮闘中！



うまく羽を広げられるかな。

「伊豆沼・内沼研究報告」が発刊されました。今号は魚類関係の報告が多く、カラドンコやチョウセンブナといった外来魚の分布拡大や、改良メダカが、浦安市の公園ビオトープに捨てられた問題などが報告されました。これらの魚は生態系に大きな影響を及ぼすこともあります。

その他、11本の論文を掲載した本誌、Web(URLは下記)でも見られるので、ぜひご覧ください。下記写真A～Fは観賞魚メダカ。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/izu/-char/ja>

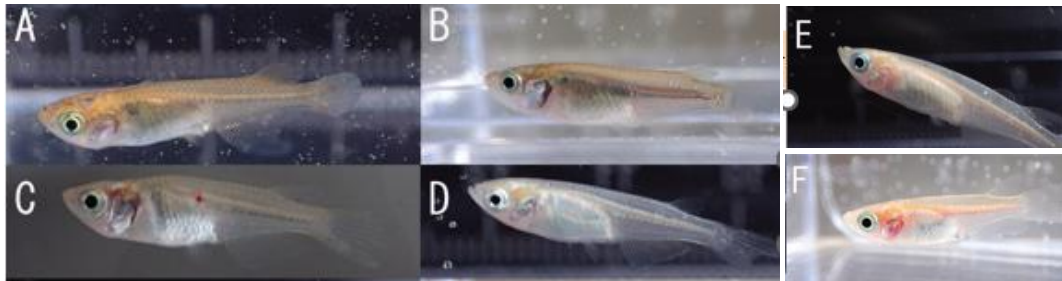


Izunuma-Uchinuma Wetland Researches  
伊豆沼・内沼研究報告

Vol. 17.  
July 2023



公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
The Miyagi Prefectural Izunuma-Uchinuma Environmental Foundation



## 各種団体が視察に訪れました

7月26日に、古川黎明高校のみなさんが野外研修で来訪されました。

館内では伊豆沼・内沼の概要を解説、水生植物園ではトンボの採集と当地で行われている保全活動の説明が行われました。今回の体験を通して、身の回りの生き物や自然への理解が進むことを願っています。

8月1日には、登米市教育委員会が主催する「幼稚園、こども園、小・中学校初任者研修会」が開催されました。当館では伊豆沼・内沼の地形や歴史、生息する生物や保全活動についての講話が行われました。

貴重な自然を理解することは、その地形や歴史、防災への理解も深まることにつながります。将来の教育に役だって欲しいです。



トンボ採集の様子



この日捕まえたチョウトンボ



登米市の幼稚園、こども園、小・中学校初任者研修会の様子

## 「ガンの飛立ち観察会&コクガンの観察会」参加者募集



早朝の伊豆沼でガンの飛立ち観察



アツアツの朝食で一息



コクガンの観察

10月1日より伊豆沼・内沼自然体験講座「ガンの飛立ち観察会&コクガン観察会」の参加申込を始めます。

早朝の伊豆沼でマガンの飛立ちを観察した後、南三陸町までバスで移動し、コクガンを観察する、毎年好評の講座です。

開催日 第7回 11月11日(土)  
第8回 11月26日(日)  
第9回 12月17日(日)  
第10回 1月14日(日)

詳細は、館内のチラシか、HPをご覧ください。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217  
ホームページ:<http://izunuma.org/>  
E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

